

3-3 調査計画（花き）

花きの部 No. 1

項目：品種比較調査

調査名：トルコギキョウの品種比較調査(7~8月出荷) (継続：令和4年度~令和5年度)

1 目的 収益性を見込める花き品目として有望なトルコギキョウについて、7~8月出荷栽培における品種比較調査を行い、栽培上の資料とする。

2 調査方法

(1) 調査場所 パイプハウス 11号 (99 m² : 約 30 坪)

(2) 耕種概要

- 1) 栽培方法 土耕栽培
- 2) は種年月日 令和5年3月3日
- 3) 定植年月日 令和5年4月17日
- 4) 栽植距離 ベッド幅 60 cm、株間 10 cm、条間 10cm、4条植え(中2条抜き)
- 5) 定植株数
- 6) 施肥量 2,720 本/棟

基肥 N-P-K-Mg=0.96-0.12-4.40.1.36 kg/a
追肥 N-P-K=0.50-0.30-0.50 kg/a ※生育状況による

(基肥) アルガ 215 (12-1-5-2) : 8.0 kg/a

硫酸加里 (K:50) : 8.0 kg/a

ハイド (Mg:40) : 3.0 kg/a

- 7) 使用資材 (追肥) 資材は生育状況を踏まえ検討する
- 8) 遮光・遮熱 白黒ダブルマルチ、10cm×6目フラワーネット、メガクール
- 9) 収穫時期 メガクール (期間は生育状況及び天候を踏まえ検討する)
令和5年7月下旬~8月中旬

(3) 調査区の構成

1) 調査区 15区 (1区10株、1区制)

2) 供試品種

No.	品種名	早晩性	花径	花色	会社名
<1>	レイナ2型ディーブラベンダー	中生	大	紫	(株)サカタのタネ
<2>	ボヤージュ2型ピンクシェイク	中生	大	白桃	(株)サカタのタネ
<3>	プロポーズ 3型スノー	中生	大	白	住化農業資材(株)
<4>	セレブ2型ピンクver. 2	中生	大	桃	住化農業資材(株)
<5>	レトロア	中生	中大	薄茶	カネコ種苗(株)
<6>	セラブ 3型クリスタル	中晩生	大	白	住化農業資材(株)
<7>	セラブ 3型リッチホワイト	中晩生	中	白	住化農業資材(株)
<8>	ウェディングキスver. 2	中晩生	小	白	住化農業資材(株)
<9>	エレスピンク	中晩生	中大	桃	カネコ種苗(株)
<10>	プリマ3型ロゼ	中晩生	大	桃	タキイ種苗(株)
<11>	プリマ3型ピンク	中晩生	大	薄桃	タキイ種苗(株)
<12>	ジェームス	中晩生	大	薄紫	タキイ種苗(株)
<13>	シンメロン	中晩生	中	緑	タキイ種苗(株)
<14>	リオホワイト	晩生	大	白	(株)サカタのタネ
<15>	PFダブルスノー	晩生	中	白	(株)サカタのタネ

(4) 調査項目 開花、切花

花きの部 No. 2

項目：品種比較調査

調査名：トルコギキョウの品種比較調査(9月出荷) (継続：令和4年度～令和5年度)

- 1 目的 収益性を見定める花き品目として有望なトルコギキョウについて、9月出荷栽培における品種比較調査を行い、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 ガラス温室6号 (165 m² : 約50坪)
- (2) 耕種概要
- 1) 栽培方法 土耕栽培
 - 2) は種年月日 令和5年3月8日 ※播種後、種子冷蔵処理
 - 3) 定植年月日 令和5年5月25日
 - 4) 栽植距離 ベッド幅60cm、株間10cm、条間10cm、4条植え(中2条抜き)
 - 5) 定植株数 3,100本/棟
 - 6) 施肥量 基肥 N-P-K-Mg=0.36-0.03-2.65-0.86 kg/a
追肥 N-P-K=0.50-0.30-0.50 kg/a ※生育状況による
(基肥) アルガ215 (12-1-5-2) : 3.0 kg/a
硫酸加里 (K:50) : 5.0 kg/a
ハイクド (Mg:40) : 2.0 kg/a
 - 7) 使用資材 (追肥) 資材は生育状況を踏まえ検討する
 - 8) 遮光・遮熱 白黒ダブルマルチ、10cm×6目フラワーネット、メガクール
 - 9) 収穫時期 メガクール (期間は生育状況及び天候を踏まえ検討する)
令和5年9月上旬～9月中旬

(3) 調査区の構成

No.	品種名	早晚性	花径	花色	会社名
<1>	ホヤージュ2型ピンクシェイク	中生	大	白桃	(株)サカタのタネ
<2>	セラブ3型クリスタル	中晩生	大	白	住化農業資材(株)
<3>	セラブ3型リッチホワイト	中晩生	中	白	住化農業資材(株)
<4>	セラブ3型イエロー	中晩生	大	黄	住化農業資材(株)
<5>	エレガンスグリーン	中晩生	大	緑	住化農業資材(株)
<6>	エレスピノク	中晩生	中大	桃	カネコ種苗(株)
<7>	エレスライトピノク	中晩生	中大	薄桃	カネコ種苗(株)
<8>	プリマ3型イエロー	中晩生	大	黄	タキイ種苗(株)
<9>	プリマ3型ピンク	中晩生	大	薄桃	タキイ種苗(株)
<10>	リオホワイト	晩生	大	白	(株)サカタのタネ
<11>	PFダブルルノー	晩生	大	白	(株)サカタのタネ

- (4) 調査項目 開花、切花

花きの部 No. 3

項目：栽培技術調査

調査名：トルコギキョウの赤色 LED 電照栽培技術調査(9 月出荷)

(新規：令和 5 年度～令和 6 年度)

- 1 目的 トルコギキョウの赤色 LED 電照処理により開花抑制が可能とされていることから、当地域における実用性について調査し、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 ガラス温室 6 号 (165 m² : 約 50 坪)
- (2) 耕種概要
- 1) 栽培方法 土耕栽培
 - 2) は種年月日 令和 5 年 3 月 8 日 ※播種後、種子冷蔵処理
 - 3) 定植年月日 令和 5 年 5 月 25 日
 - 4) 栽植距離 ベッド幅 60 cm、株間 10 cm、条間 10cm、4 条植え(中 2 条抜き)
 - 5) 定植株数 3,100 本/棟
 - 6) 施肥量 基肥 N-P-K-Mg=0.36-0.03-2.65-0.86 kg/a
追肥 N-P-K=0.50-0.30-0.50 kg/a ※生育状況による
(基肥) アルガ 215 (12-1-5-2) : 3.0 kg/a
硫酸加里 (K:50) : 5.0 kg/a
ハイド (Mg:40) : 2.0 kg/a
 - 7) 使用資材 (追肥) 資材は生育状況を踏まえ検討する
白黒ダブルマルチ、10cm×6 目フラワーネット、メガクール、
 - 8) 電照期間 赤色 LED ライト (620nm~630nm)
調査区① 無電照
調査区② 令和 4 年 6 月上旬 (定植後) ~収穫終了日
※16:00~8:00 (16 時間電照)
 - 9) 遮光・遮熱
 - 10) 収穫時期 メガクール (期間は生育状況及び天候を踏まえ検討する)
令和 5 年 9 月上旬~9 月中旬

(3) 調査区の構成

No.	品種名	早晚性	花径	花色	会社名
<1>	ホヤージュ 2 型ピンクシェイク	中生	大	白桃	(株)サカタのタネ
<2>	セラフ 3 型クリスタル	中晩生	大	白	住化農業資材(株)
<3>	セラフ 3 型イエロー	中晩生	大	黄	住化農業資材(株)
<4>	エレスピンク	中晩生	中大	桃	カネコ種苗(株)
<5>	プリマ 3 型ピンク	中晩生	大	薄桃	タキイ種苗(株)
<6>	リホリト	晩生	大	白	(株)サカタのタネ
<7>	PF ダブルスノー	晩生	大	白	(株)サカタのタネ

- (4) 調査項目 開花、切花

花きの部 No. 4

項目：栽培技術調査

調査名：カンパニュラの赤色 LED 電照栽培技術調査（継続：令和 2 年度～令和 6 年度）

- 1 目的 カンパニュラの赤色 LED 電照処理により開花促進が可能とされていることから、当地域における実用性について調査し、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 パイプハウス 9 号 (99 m² : 約 30 坪)
- (2) 耕種概要
- 栽培方法 土耕栽培
 - は種年月日 令和 4 年 11 月 4 日
 - 定植年月日 令和 4 年 12 月 16 日
 - 仕立て法 調査区②令和 5 年 2 月 9 日に摘心
調査区①、③、④令和 5 年 3 月 2 日に摘心
 - 栽植距離 ベッド幅 60 cm、株間 20 cm、条間 40cm、2 条植え（中 1 条抜き）
 - 定植株数
 - 施肥量 540 株/棟
N-P-K=0.60-0.05-1.75-0.10 kg/a
（基肥）アルガ 215 (12-1-5-2) : 5.0 kg/a
硫酸加里 (K:50) : 3.0 kg/a
- 8) 使用資材 バイオ 21、黒マルチ、赤色 LED ライト (620nm～630nm)、
20cm×3 目フラワーネット
- 9) 電照期間 調査区① 無電照
調査区② 令和 4 年 12 月 16 日（定植後）～収穫終了日
調査区③ 令和 5 年 3 月 2 日（摘心後）～収穫終了日
調査区④ 令和 5 年 4 月 1 日～収穫期まで
- 10) 収穫時期 ※いずれも 22:00～2:00 の暗期中断とする
令和 5 年 4 月上旬～6 月上旬
- (3) 調査区の構成
- 調査区 16 区 (1 区 5 株、1 区制)
 - 供試品種
- | No. | 品種名 | 花色 | 会社名 |
|-----|-------------------|----|-----------|
| <1> | チャンピオン IQ ローズ | 桃 | (株)サカタのタネ |
| <2> | チャンピオン IQ ホワイト | 白 | (株)サカタのタネ |
| <3> | チャンピオン IQ ディープブルー | 濃紫 | (株)サカタのタネ |
| <4> | チャンピオンスカイブルー | 青紫 | (株)サカタのタネ |
- (4) 調査項目 開花、切花

花きの部 No. 5

項目：品種比較調査

調査名：ディスバッドマムの品種比較調査(11月出荷) (新規：令和5年度～令和6年度)

1 目的 今後、当地域の有望花き品目として期待されるディスバッドマムについて、11月出荷作型における栽培技術及び品種比較調査を行い、栽培上の資料とする。

2 調査方法

- (1) 調査場所 パイプハウス8号 (99 m² : 約30坪)
- (2) 耕種概要
 - 1) 栽培方法 土耕栽培
 - 2) 定植年月日 令和5年8月下旬～9月上旬(直挿し)
 - 3) 栽植距離 ベッド幅80cm、株間10cm、条間10cm、6条植え(中2条抜き)
 - 4) 定植株数 3,600本/棟
 - 5) わい化剤処理 ビーナイン顆粒水溶剤を散布
 - 6) 施肥量 ※濃度及び散布回数は生育状況による
N-P-K=1.5-0.5-1.5 kg/a
 - 7) 使用資材 (基肥)資材は土壌分析結果を踏まえ検討する
 - 8) 電照期間 10cm×8目フラワーネット、黒マルチ
 - 9) 収穫時期 定植後～9月下旬 22:00～3:00(暗期中断)
令和5年11月中旬～下旬
- (3) 調査区の構成
 - 1) 調査区 未定(1区10株、1区制)
 - 2) 供試品種 ※供試品種については、メーカーからの新品種が提示され次第、順次選定するものとする。10～15品種程度で検討予定。
- (4) 調査項目 開花、切花